

# ぱおぱお ニュース

## < 病気の豆知識 >

### 今月は…『 予防接種 』です

お子さんの予防接種、受けられていますか？  
急に体調を崩したりして、受け忘れはないですか？



乳幼児は免疫力(病気に対する抵抗力)が弱く、感染症にかかりやすいです。  
ワクチンを接種して免疫をつくることにより、発病を予防したり症状を軽くしたりすることが出来ます！  
特に保育園などで集団生活をおくる子どもたちは、適切な時期に適切なワクチンの接種が大切です。

### < 同時接種のすすめ >

一度に注射を何本もしたら痛くてかわいそう…  
一度に色々打ったら体の副反応も強くなりそう… など、心配ですね。



でも考え方もありますが、何度も病院へ来て毎回泣いて痛い思いをするよりは、  
泣いているうちにまとめて打ってしまう方が、病院嫌いになりにくいのではないかと思います。

また、副反応のリスクは別々に接種しても、同時に接種しても同じです。  
同時接種したせいで強くなったり、特別な副反応が現れることはありません。

予防接種は必要な免疫を早くつけて、子どもを守ることが一番の目的です。  
風邪をひいて受けられなかったりと、接種予定が遅れていくことも考えると、同時接種はおすすめです。

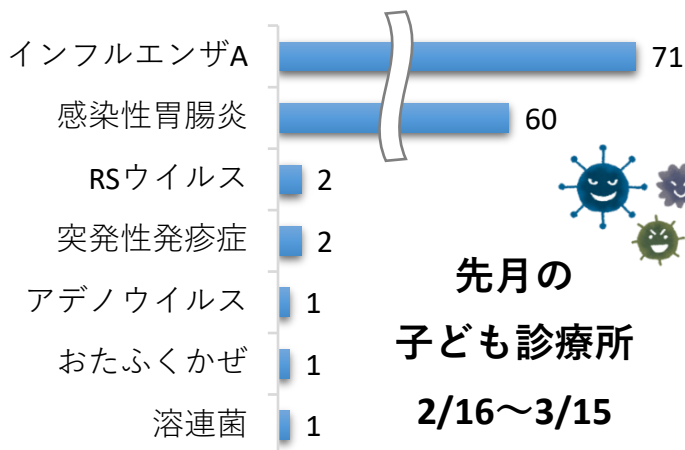


1才のお誕生日を迎えたら…

**MR(麻疹・風疹)と水痘(みずぼうそう)、おたふく(任意)**が  
受けられますよ。免疫力のプレゼントですね！  
もちろん同時接種も可能です。ぜひ忘れずに接種しましょう！



## < 感染症情報 >



先月の  
子ども診療所  
2/16~3/15

### 子ども診療所では…

- ・インフルエンザのお子さんがまだ多いですが、症状は軽症のお子さんが多いようです。
- ・胃腸炎のお子さんもまだまだ多いです。
- ・その他の感染症も少し出てきています。

### 病児保育室ぱおぱおでは…

- ・予約が混み合いキャンセル待ちも多くいました。
- ・3月に入るとインフルエンザでの入室は落ち着いてきましたが、胃腸炎は引き続き目立ちます。鼻水と咳があり、発熱の続くお子さんもいらしていました。



## 進級、進学 おめでとうございます！！



新年度が始まり、お子様は新たな環境で生活するようになりました。  
ご両親はお子様の成長の喜びと同時に、疾患に見舞われることも経験することになります。  
通常の保育が受けられない時には、病児保育を利用することになります。  
病児保育ではお子様に休養して頂くと同時に、医師による診察を受け、必要な治療を受けることができます。病児をよく知っている、病気に詳しい保育士が担当しています。  
安心して預けられる保育室になっています。

子ども診療所所長 大久保 節士郎

日に日に暖かくなり、気持ちも新たに新年度が始まります。  
なんだかワクワクする反面、クラスや担任の先生が替わったり、生活リズムが変わったり、  
しばらくは落ち着かない時期でもありますね。コロナの影に身を潜めていた他のウイルスたちも、  
いよいよ活動を再開したようで、外来ではいろいろな子どもの感染症をみるようになってきました。  
今年度も子ども診療所、そして病児保育室ぱおぱおが、子どもたちとご家族の生活の支えと  
なれるよう、スタッフ一同取り組んでいきたいと思ひます。  
まだまだ感染対策始め、ご協力をお願いすることも多いですが、ご協力頂けますと幸いです。

子ども診療所小児科医 奥野 理奈

仕事と育児の両立は本当に大変ですよね。お子様がまだ小さい時はなおさらです。  
保護者の皆様は本当に頑張っておられると思ひます。だからこそ、微力ながらも心の支えになればらと  
思っております。そして病気の子どもの初めての環境に預けることも、また不安かとは思ひますが、  
“ぱおぱお楽しかったよ♪”とお子様の笑顔に保護者もほっとできるよう、日々努めております。  
ぜひ安心して預けて仕事に集中し、帰宅後は“ありがとう！”とお子様を抱きしめてあげてください。

病児保育専門士 石山 朋子



**保育室のご利用には 事前の登録が必要です！**

見学の問合せも  
どうぞ♪

何かお困りの際はご相談ください。

**お問い合わせ 病児保育室ぱおぱお（月～金 8：30～17:30）**

**TEL 042-521-2777**

\* 育児相談も受け付けています